

令和7年度「かなざわ幼児教育みちしるべ」活用推進事業 「結果報告書」

施設名 済美幼稚園

【連携小学校】

金沢市立朝霧台小学校

【連携幼児教育施設】

田上こども園 太陽が丘こども園

【主な取り組み内容・経過】

- ・ 園内研修会や意見交換会の実施日や内容、テーマ、参加人数、メンバー等を記載してください
- ・ お子さんの姿や保育者、小学校の先生の思いも含め、具体的に記載してください
- ・ 写真や資料取り組みにおいて明らかになったことや成果、新たな課題等についても、できるだけ詳しく記入ください

例 <カフェミーティングの様子>

朝霧台小学校、田上こども園、太陽が丘こども園の先生方と互いの園を見学し、それぞれの保育の中で気づいた点や、その活動を行っている理由・ねらいについて意見交換を行った。

また、小学校進学に向けて、子どもたちにとって何が必要であるか、園生活の中でどのような力を身に付けておくことが大切であるかについても話し合いを深めた。



他園の保育活動を実際に見ることで、自園では気づかなかった視点や工夫を知ることができ、「このような取り組みを自園でも実践してみたい」という新たな気づきにつながった。見学後には、学んだ内容をもとに自園でも早速実践に取り組むことができ、他園交流が保育の見直しや改善のきっかけとなった。

実際に取り入れた活動は、子どもたちにとっても普段とは異なる新鮮な経験となり、興味をもって積極的に参加する姿が見られた。こうした姿からも、新しい環境や活動に前向きに関わる力や、自分で考え行動しようとする姿勢を育むうえで、他園との学び合いが有意義であることを感じた。

今回の交流を通して、職員同士が保育の意図や子どもの育ちについて共有し合うことの大切さを改めて認識した。今後も他園との交流を継続し、互いの保育について意見交換を重ねながら、子どもたちが安心して小学校進学を迎えられるよう、一人一人の育ちを見据えた保育の充実に努めていきたい。

【令和7年度の活動の成果・考察】

本年度は、近隣の保育園（田上、太陽が丘）および小学校との連携の機会を通して、幼保小連携の推進と相互理解の深化を図ることができた。

施設見学や意見交換を通じて、各園・各校における教育・保育の実践や環境構成について学ぶことができ、小学校への円滑な接続を見据えた教育・保育の在り方について具体的な視点を得ることができた。これにより、日々の保育の見直しや質の向上につながる有意義な取組となった。

また、教職員同士の交流により、施設や立場の違いを超えて、子どもの成長に関わる課題や支援の在り方について共通理解を深めることができたことは、大きな成果である。幼児教育から小学校教育への連続性を意識した保育実践の充実に寄与したと考えられる。

さらに、カフェミーティング等を通して、率直な意見交換ができる関係性の構築が進み、継続的な連携の基盤づくりにつながった。これにより、単なる一時的な交流にとどまらず、今後の実践に活かすことのできるネットワーク形成が図られた点も重要な成果である。

一方で、各施設ともに業務が多忙であることから、継続的な連携の時間確保が課題として挙げられる。今後は、効率的な情報共有の仕組みづくりや、負担の少ない交流方法の検討が求められる。

以上より、本活動は幼保小連携の推進において一定の成果を上げたものであり、今後の発展的な取組につなげていく必要がある。

【令和7年度の活動を終えての所感】

本年度の取組を通して、幼稚園・保育園・小学校がそれぞれの役割を担いながら、子どもたちの育ちを一貫して支えていくことの重要性を改めて強く実感した。

これまで接点の少なかった施設同士が直接関わることで、それぞれの教育・保育の考え方や実践を具体的に知ることができ、幼児期から学童期へのつながりをより明確に意識することができた。特に、小学校の教育現場を実際に見聞きすることで、幼児教育の段階で育むべき力や支援の在り方について再認識する機会となった。

また、教職員同士の対話を通して、立場や環境の違いを超えて共通する悩みや課題、そして子どもの成長に関わる喜びを共有することができた。このことは、教職員の心理的な安心感につながるとともに、今後の連携に対する前向きな意識を高める要因となった。

さらに、形式にとらわれない意見交換の場においては、日頃の業務では得られない気づきや学びが多くあり、より深い相互理解につながった。このような関係性の構築は、継続的な連携を支える重要な基盤となるものであると感じている。

一方で、日常業務の中で時間を確保することの難しさも実感しており、今後は無理のない形で継続できる連携の在り方を検討していく必要がある。

本年度の取組を一過性のものとせず、今後も継続的・発展的に取り組むことで、地域全体で子どもたちの育ちを支える体制の充実を図っていきたい。

※この「結果報告書」は、資料として金沢市公式 HP や研修会等で公開させていただく予定です。